

復興事業一覧及び主要事業概要

1. 復興事業一覧

大島町復興計画の期間と復興の柱ごとのスケジュール（大島町復興計画）

	前期 平成 26～28 年度	中期 平成 29～31 年度	後期 平成 32～35 年度
大島町復興計画	被災者の意向を尊重し、個々の被災状況に応じた生活再建の目途が立つことをめざします。		
	活気と魅力ある島の再生を図り、東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせ「元気な大島」を発信します。		
	「復興でめざす島の姿 - 安心と笑顔があふれる美しい島 -」の実現 ①自然と共生する災害に強い島 ②自然や文化、人とのふれあいなど、心やすらぐ島 ③誰もが訪ねたくなる、移り住みたくなる、賑わいに溢れた島		
復興の柱1 被災者生活 再建支援	被災者への資金等の支援 住宅再建の支援 多様なサービスの提供 情報提供と相談体制の確立	(必要な時に必要な支援を継続して実施)	
復興の柱2 地域基盤・ インフラの 復旧	がれき等の撤去処分	地域基盤の整備、インフラの復旧と機能強化	
復興の柱3 産業・観光 復興支援	島内企業の早期再建と商工業の振興、農業の早期再建と振興、水産業の早期再建と振興、観光振興の推進		
復興の柱4 防災まちづくり の強化	台風 26 号に伴う豪雨災害の検証と地域防災計画の改訂、災害情報の連絡体制の再構築、災害対応力の強化、島内避難体制の再構築、避難施設の強化等、災害教訓の伝承と地域防災力の向上		
元町地区の復興 まちづくり計画	事業計画策定	住宅再建支援、生活道路・公園等の整備・大金沢流路改修	
【参考】 大島町基本構想 ・基本計画	第5次基本構想・ 基本計画	第6次基本構想・基本計画（平成 28～35 年度）	

大島町復興計画 復旧・復興事業一覧

復興の柱	主な施策	事業概要	実施期間				担当課	平成26年度までの事業実績 (件数、金額、作業実績等)	H27予算 (百万円)	平成27年度の具体的な事業内容 (予定件数、金額、作業内容等)
			H26	H27	H28	H29～				
①被災者への資金等の支援										
被災者生活再建支援	義援金の支給	義援金配分委員会で定められた対象への義援金の配分を行う。	○	○	△	△	福祉けんこう課	・第一次配分:25年度 188件109,775千円。26年度 11件8,550千円 ・第二次配分:25年度 448件66,980千円。26年度 23件3,620千円 ・第三次配分:25年度 402件394,730千円。26年度 71件61,430千円 ※△は、未支給者の申請により変更となる	0	・1世帯2名を除き、配分終了 ・未申請分については、申請のあった段階で対応を図る
	災害弔慰金の支給	災害により死亡(又は行方不明)の方の遺族へ弔慰金を支給	○	○	△	△	福祉けんこう課	25年度 24名70,000千円 26年度 4件12,500千円(未支給3名) ※△は、未支給者の申請により変更となる	10	未申請分については、申請のあった段階で対応を図る
	被災者生活再建支援金の支給	土砂災害によりその生活基盤に著しい被害を受けた者に対し、被災者生活再建支援金を支給する。	○				福祉けんこう課	基礎支援金:H25年度61世帯49,000千円。H26年度4世帯3,500千円。		※平成26年11月15日受付終了
	災害援護資金貸付	災害で負傷又は住居、家財に被害を受けた方を対象に、350万円を限度に低利で貸し付ける(市町村)					福祉けんこう課	申込み期間:平成25年11月21日から平成26年1月31日まで 貸付概要:4世帯 14,600千円		※平成26年1月31日受付終了
	遺児生活支援事業	土砂災害により、両親又はその一方が死亡又は行方不明となった児童の就学及び修学並びに生活の支援のため支援金を支給する。	○	○	○	○	福祉けんこう課	26年度 4名1,268,161円	1	引続き、支援を実施 ※対象予定者 4名 1,560千円
	児童生徒通学支援事業	被災児童の仮設住宅からの通学の支援をする。児童については通学バスで対応し、中学生はバス回数券を支給する。	○	○			教育文化課	25年度 スクールバス委託費41日間309,960円、バス回数券2名9,600円 26年度 スクールバス委託費228日間1,773,840円、バス回数券1名10,200円	2	引続き、支援を実施
②住宅再建の支援										
被災者生活再建支援	被災者生活再建支援金(加算支援金)の支給	土砂災害で住宅が全壊又は大規模半壊した者が、新たに住宅を建設、購入、補修又は賃借した際に支給する。	○	○	○		福祉けんこう課	・加算支援金:25年度 11世帯7,875千円。26年度 6世帯8,500千円。 ・都制度支援金:25年度 2世帯1,978千円。26年度 2世帯2,400千円。	20	・加算支援金:H28.11.15まで支給申請受付 ・都制度支援金:H28.3.31まで支給申請受付(引続き28年度申請延長を要望予定)
	大島町住宅再建支援補助金	被災者生活再建支援金(加算支援金)に加えて、町事業として、住宅再建(補修、建設・購入)のために必要な経費を支援する。	○	○	○		土砂災害復興推進室	26年度 購入5件(300万円/件) 修繕2件(100万円/件)	30	引続き、支援を実施 ※平成28年11月15日まで受付
	災害公営住宅建設事業	復興対策住宅(RC2階建 2棟24戸)建設(家の上地区 1棟14戸、岡田地区 1棟10戸)	○	○			地域整備課	26年度 実施設計費等32,292千円	928	・復興住宅岡田地区 契約金額 284,443,480円(工期:平成27年3月5日から平成28年1月20日) ・復興住宅家の上地区 契約金額 348,254,180円(工期:平成27年5月20日から平成28年3月24日)
	擁壁等崩落防止事業	土砂災害により崩壊した擁壁等の復旧工事を実施し、二次災害の防止を図る。	○				地域整備課	26年度 申請17件		※平成26年10月15日受付終了
	浄化槽修理新設事業	合併浄化槽を新たに設置する者に対して補助金を交付する。	○				地域整備課	26年度 土砂災害により被害を受けた方からの申請は0件		引続き、支援を実施
③多様なサービスの提供										
被災者生活再建支援	応急仮設住宅管理	応急仮設住宅の浄化槽、受水槽、街路灯など共用部分を適切に維持管理する。	○	○			地域整備課	46戸設置 32世帯76人入居(平成27年4月1日現在)	2	平成28年2月1日 復興住宅(岡田地区)入居開始 予定 平成28年4月1日 復興住宅(家の上地区)入居開始 予定 仮設住宅入居期間延長都へ依頼(4月30日まで) 入居者移転完了後、仮設住宅解体撤去。住宅敷地内現状復旧(28年度)
	生活支援相談の実施	土砂災害の被災者の生活支援のため、社会福祉協議会に『生活支援相談員』を設置し、被災者の支援を実施する。	○	○	△		福祉けんこう課	25年度及び26年度:「こころからだの健康相談・健康調査とその後のフォロー」活動実施 26年度:被災者生活支援連絡会を設置、被災1年後の健康調査を実施	6	・「こころからだの健康相談」については、フォローが必要な方を中心に継続して実施 ・被災者生活支援連絡会を毎月開催し、情報の共有と支援の協力体制の構築を継続 ※平成28年度も引続き支援体制を検討していく。
	医療費一部負担金の減免	災害により直接負傷した被災者に対する治療費の一部負担金を減免し、生活再建に支障をきたさぬよう支援する。	○	○			住民課	25年度 被災者76件、5,175,226円。 26年度 17件、280,835円。 ※支援件数も減少し、負傷者の治療もほぼ完治へ向かい被災前の生活を取り戻しつつある状況	-	ほとんどの被災者が完治に向かっているが、リハビリ等未だ治療を要する被災者を支援していく
	負傷者通院費の補助	災害により負傷した被災者の治療に要する交通費を補助する。	○	○			福祉けんこう課	25年度 7名1,749,013円 26年度 2名470,120円 ※「医療費一部負担金の減免」事業にリンクする	1	ほとんどの被災者が完治に向かっているが、リハビリ等未だ治療を要する被災者を支援していく
④情報提供と相談体制の確立										
被災者生活再建支援	土砂災害復興推進室の設置	平成26年11月に課相当の組織を設置した。					土砂災害復興推進室	平成26年11月に土砂災害復興推進室を設置 復興推進係、復興整備係の2係体制で発足	-	用地係を新規設置、室員増員
	司法書士無料法律相談 電話による無料法律相談	東京司法書士会、第二東京弁護士会による無料法律相談を実施する	○	○	○	○	土砂災害復興推進室 総務課	平成25年11月21日～27日 無料法律相談実施 その後も定期的に、司法書士や弁護士による無料相談を実施	-	引続き、支援を実施

復興の柱	主な施策	事業概要	実施期間				担当課	平成26年度までの事業実績 (件数、金額、作業実績等)	H27予算 (百万円)	平成27年度の具体的な事業内容 (予定件数、金額、作業内容等)	
			H26	H27	H28	H29～					
地域基盤・インフラの復旧	①地域基盤の整備										
	町道災害復旧事業	本村三原山線道路(御神火スカイライン)ほか、被災した町道の復旧工事を行う。	○	○			地域整備課	総延長約6,000m、総事業費約12億円のうち 26年度実施274,392千円	956	御神火スカイライン他 27年度施工・復旧予定	
	災害復旧に伴う用地測量	大金沢流路沿い町道整備及び神達地区都市計画公園整備に合わせて用地測量を実施する。	○	○			土砂災害復興推進室	26年度 町道整備における用地測量は終了 契約3本。ただし設計費含む 計59,410,800円 (内訳21,373,200円、9,104,400円、28,933,200円)	-	神達地区都市計画公園整備における用地測量については27年度以降実施	
	元町地区雨水排水処理整備事業	元町地区内町道の排水構造物及び排水能力を調査し、大島支庁とも連携のうえ、排水整備計画を策定する。	○	○	○	○	地域整備課	26年度 ・排水処理整備計画策定、検討委託及び調査委託実施 ・東京電力周辺道路排水緊急整備工事施工 (工事費4,000千円、調査委託56,000千円)	40	調査、検討結果により整備工事を実施	
	②インフラの復旧と機能強化										
	庁舎自家発電設備改修事業	災害発生時に停電による業務の停滞を避けるため、自家発電能力の向上を図る。		○			総務課			5	・基本設計(4～7月) ・大型発電機及び庁舎改修工事(8月下旬入札、9月～28年5月) ※設置場所は、庁舎地下1階(旧ボイラー室)を予定。部屋の扉等を工夫し、一定程度の土砂や津波被害に耐えられるよう検討
	大島老人ホーム自家発電設備改修事業の助成	災害発生時の要配慮者の避難所として協定を締結している大島老人ホームにおいて、停電時の電力確保のため自家発電設備整備事業の助成を行う。		○			住民課			32	平成27年6月設置完了予定
	③がれき等の処分撤去										
	災害廃棄物等処理事業	膨大な量の災害廃棄物等について、迅速かつ適切に処理を行う。	○				地域整備課	25年度 983,124千円 26年度 3,816,637千円			
	①島内企業の早期再建と商工業の振興										
中小企業再建に対する金融支援	被害を受けた中小企業が早期復旧を果たせるよう、営業再開や経営安定に必要な資金に対して利子補給等により、負担軽減を図る	○	○	○	○	観光産業課	・直接被害への支援 18件 356,971千円(利子補給) ・間接被害への支援 23件(セーフティネット4号承認) 26年度 利子補給 16件 745,758円	1	引続き、支援を実施		
大島町中小企業再建支援補助	被害を受けた中小企業の事業再建のために必要な施設・設備の購入や修繕等に要する経費を補助する。	○	○			観光産業課	26年度 ・新築・購入 6件 17,198千円 ・修繕 14件 12,412千円	30	引続き、支援を実施 ※平成28年3月31日まで(必要に応じて期間延長することもあり)		
②農業の早期再建と振興											
農地等災害復旧事業	土砂災害により被災した農地及び農業用施設の復旧を支援する。	○	○			観光産業課	平成25年12月18日 農林水産省による実施査定		39	・代替用地選定(第1～2四半期) ・実施設計(第2～3四半期) ・復旧工事(第3～4四半期)	
③水産業の早期再建と振興											
漁場災害復旧事業	大量の流木等が流れ込んだ元町弘法浜、前半地域を、元の好漁場に戻すため、漁場内にある流木等を撤去し漁場の復旧を図る。	○	○	○	○	観光産業課	25年度 船外機12隻、延べ人数90人 3,135,000円 26年度 船外機54隻、延べ人数240人 12,962,500円	10	引続き、支援を実施		
漁業振興のための助成事業	被害の大きかった地区の稚魚放流について上乘せ補助を行う。	○	○	○	○	観光産業課	26年度 元町・岡田・野増 ・アワビ56,700個、サザエ107,500個 総額1,005,325円 ・都災害配布 サザエ450,000個	1	元町(6月～8月) 岡田、野増(10月～11月) ・アワビ56,700個、サザエ107,500個 ・都災害配布 サザエ450,000個		
つきいそ事業	災害により土砂等が流入した海域に、割栗石やコンクリート製平板礁を投入し、漁場造成を行う。	○	○	○	○	観光産業課	割栗石(自然石)3,141m ³ (波浮港)24,986,600円	30	割栗石(自然石)3,000m ³ (差木地)		
漁村地域防災力強化改修事業	漁業協同組合が所有する共同利用施設の耐震診断を実施し、施設の耐震化を図り、災害時の避難場所等として利用する。	○	○			観光産業課	25年度 波浮港製氷施設防災力強化改修工事(1F柱耐震補強シート張張他25,653,600円 波浮港平屋倉庫解体工事1,323,000円) 26年度 岡田売店防災力強化改修工事、耐震診断、1F柱耐震補強シート張他34,090,200円	37	施設の耐震診断と耐震化工事を実施 (泉津荷捌施設施設、岡田畜養施設、野増倉庫施設、波浮畜養施設他)		
④観光振興の推進											
弘法浜遊泳場災害復旧事業	弘法浜及び隣接する湯の浜に流入した土砂の撤去等整備を実施	○	○			観光産業課	26年度 ・トイレ外給水管復旧工事 ・大金沢下流浚渫工事 ・築堤土砂撤去工事	11	湯の浜を中心に土砂の撤去等整備を実施 ※27年度夏季までに完了予定		
大島町観光プール(仮称)整備事業	弘法浜プールに代わる、新たなプールを建設する。	○	○			観光産業課	26年度 基本設計、実施設計を実施するも、契約不調となり工事発注できず	357	新設工事契約により、建設工事着手(年度内に完成予定) ※28年度夏季から運用開始		
伊豆大島復興宣伝プロジェクト	世田谷区商店街連合会の協力を得て、世田谷区の商店街において『元気で伊豆大島!! 感謝と復興』を掲げて復興宣伝プロジェクトを展開する。	○	○			観光産業課	プロジェクト内容の企画	-	2回(6月、1月)実施予定		
2016アジア自転車競技選手権日本大会開催	2016年1月アジア自転車競技選手権日本大会のロードレースを大島町西海岸コースにおいて開催する。土砂災害からの「復興」の一環として本大会を通じ、全国のサイクリストを受け入れる「自転車の聖地」の発信を目指す。	○	○			観光産業課	平成26年10月3日 第1回実行委員会・開催記者発表会 平成27年1月17日 第1回ロード委員会	70	・実行委員会の開催(3回 4月、11月、3月) ・住民への周知、受入態勢の整備等、開催に向け準備 ・平成28年1月19日～24日 大会開催		
岡田港船客待合所施設整備事業	岡田港船客待合所施設整備に合わせて整備される大島町交流施設を中心に、観光客に島の魅力を伝える環境づくりを行う。	○	○			政策推進課	平成26年度 大島町と都の合併建築工事の契約手続きにおいて不調となり、工事発注できず	135	事業執行に向けて必要な予算要求を行う。		

復興の柱	主な施策	事業概要	実施期間				担当課	平成26年度までの事業実績 (件数、金額、作業実績等)	H27予算 (百万円)	平成27年度の具体的な事業内容 (予定件数、金額、作業内容等)
			H26	H27	H28	H29～				
防災まちづくりの強化	①台風26号に伴う豪雨災害の検証と地域防災計画の改訂									
	地域防災計画の策定	土砂災害防止法に基づく区域指定により、風水害編の見直しを行い、各災害を踏まえた地域防災計画の策定を行う。		○	○		防災対策室		-	土砂法による区域指定の結果を踏まえ、地域防災計画「風水害編」の改訂に向けた検討に着手し、早期の見直しを実施する。
	②災害情報の連絡体制の再構築									
	防災行政無線設備等更新事業	老朽化の著しい岡田中継所の基地局設備について、平成27年度にアナログにて更新し、システムの安定化を図る。役場内操作卓についても、老朽化が著しいため、アナログ・デジタル兼用による設備の更新を行う。		○			防災対策室		64	防災行政無線岡田中継所及び役場内防災行政無線操作卓について、27年度中の設備更新を行う。
	③災害対応力の強化									
	消防無線デジタル化	情報伝達機能を強化するため、消防無線のデジタル化を行う。	○	○			消防本部	幕木山中継局、町役場庁舎、消防本部で実施	574	大島公園、勤労福祉会館他で実施予定
	④島内避難体制の再構築									
	避難計画の策定	大島町土砂災害避難行動計画(暫定版)を策定する。土砂災害防止法に基づく区域指定後、本計画を策定する。	○	○	○		防災対策室	平成26年5月に「大島町土砂災害避難計画(暫定版)」を策定	-	4月28日に東京都が公表した土砂法の基礎調査結果を踏まえ、暫定版の避難計画の見直しの検討に着手 年度内に策定予定
	⑤避難施設の強化等									
	庁舎センター系統空調設備更新	開発総合センター1階から3階までの空調機、室内外機の更新を行う。		○			教育文化課		12	平成27年4月改修工事 7月中旬工事終了予定 工事請負費12,884,940円
	「防災の手引」の作成	住民等に分かりやすい、地震・津波・火山噴火・風水害等の災害に対応する「防災の手引」を作成し、日頃から防災意識の向上を図る。	○	○	○		防災対策室	地震・津波編、火山噴火編等について作成作業	-	平成27年4月に「防災の手引」(地震・津波編)及び「津波避難マップ」を作成 今後、風水害編及び火山噴火編について、順次作成に着手する。
	⑥災害教訓の伝承と地域防災力の向上									
追悼式の開催	犠牲者の冥福を祈るとともに、災害に強い、安心して住み続けられる町の復興をめざし、またその教訓を後世に語り継ぐため追悼式等を行う。	○	○	○	○	総務課	平成26年10月16日 島内関係機関とで追悼式を実施 平成26年10月26日 島外関係者・遺族・島内関係者による追悼式を開催		平成27年10月16日 島内関係機関とで追悼式、献花台での黙祷・町長の誓いの言葉・献花を実施予定	
災害記録誌作成	平成25年台風26号による大島町土砂災害の災害記録誌を作成し、後世に残し、今後の防災に対する教訓・災害対応への一助とする。		○	○		防災対策室		-	当時の資料を整理していく。また、今後、内容や構成についての検討を庁内にて協議することとする。	
社会科副読本改訂事業	平成26年度社会科副読本改訂委員会を開催し、台風26号災害を掲載した副読本を平成27年度に配布する。	○	○			教育文化課	平成26年度に社会科副読本改訂委員会を5回開催し、改訂版完成(400冊 1,620,000円)	-	小学校3年生、4年生へ配布	

大島町復興計画推進委員会

復旧・復興事業報告

地域整備課

災害公営住宅建設事業

1 事業概要

岡田地区及び家の上地区に RC 造 2 階建の復興住宅を建設する。

岡田地区は大島町定住促進住宅として、家の上地区は公営住宅として整備する。

2 実施内容等

(1) 岡田住宅

施工場所:大島町岡田字新開26

工 期:平成 27 年 3 月 5 日～平成 28 年 1 月 20 日

構造概要:RC 造 2 階建 建築面積:417.39㎡ 延床面積:608.78㎡

戸 数:単身用(43.30㎡)2戸、家族用(60.09㎡)8戸

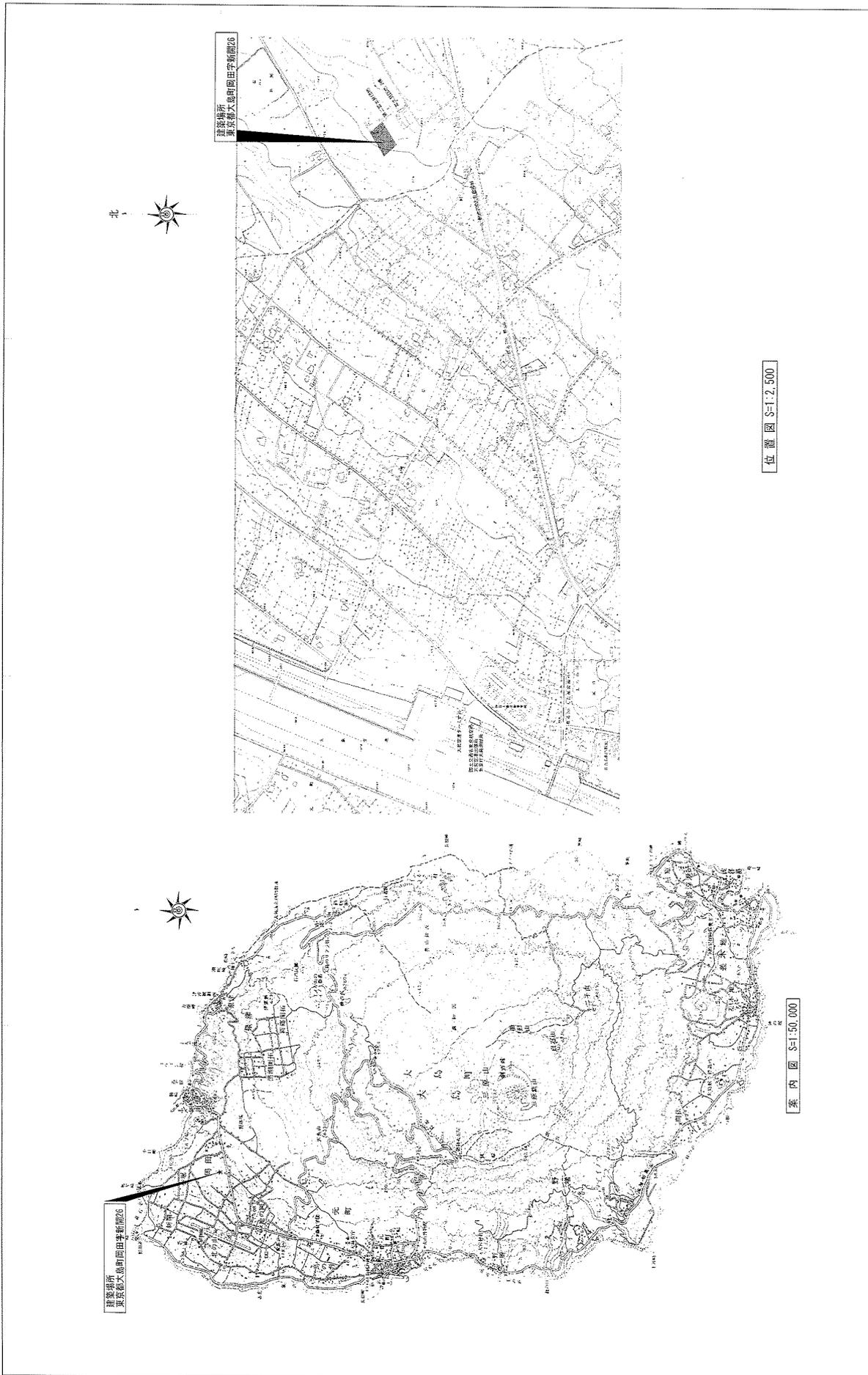
(2) 家の上住宅

施工場所:大島町元町字家の上462番2

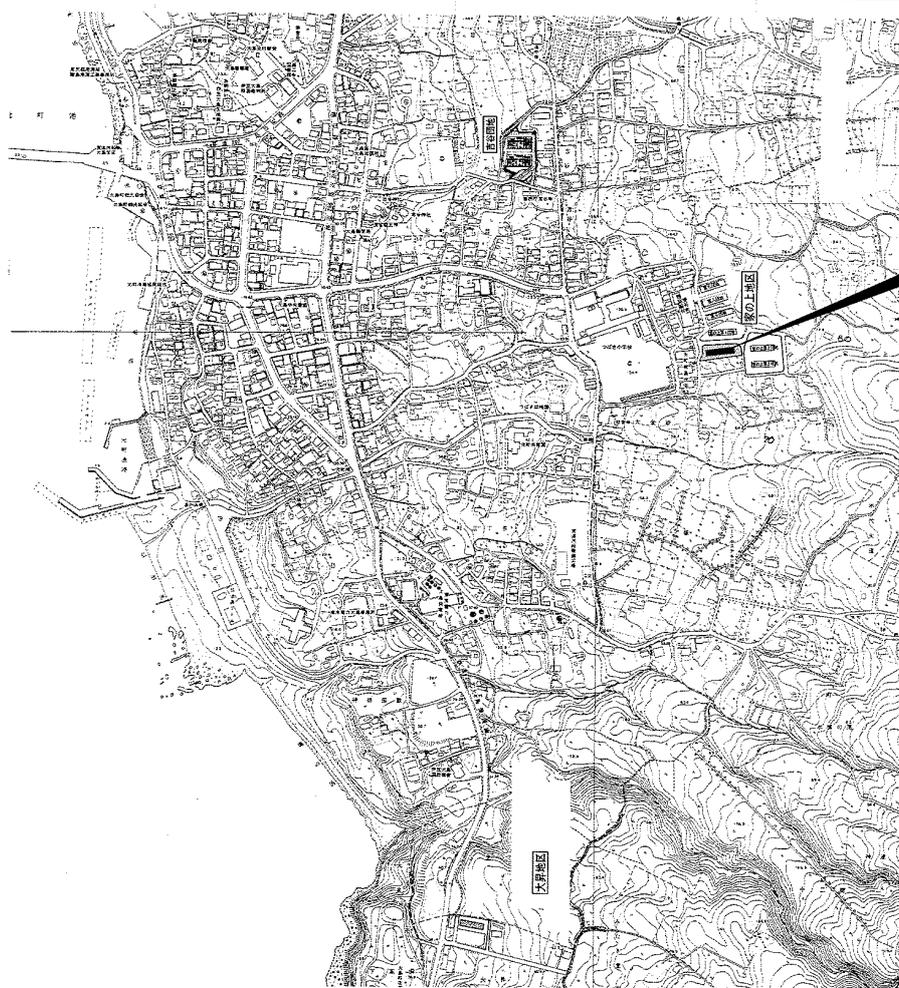
工 期:平成 27 年 5 月 20 日～平成 28 年 3 月 24 日

構造概要:RC 造 2 階建 建築面積:485.33㎡ 延床面積:745.07㎡

戸 数:単身用(43.30㎡)8戸、家族用(60.09㎡)6戸



FILE NO		2
復興住宅建設工事 岡田地区		
案内図・配置図		
東京都大島町		



建築事務所
東京都大島町元町字家の上 462番 2.3

位置図 S=1:5,000



建築事務所
東京都大島町元町字家の上 462番 2.3

案内図 S=1:50,000



東京都大島町

復興住宅建設工事 家の上地区
案内図・位置図

FILE NO
2

縮尺 1/50,000 SCALE

大島町復興計画推進委員会

復旧・復興事業報告

地域整備課

町道災害復旧事業 元村三原山線道路（御神火スカイライン）災害復旧事業

1 事業概要

元村三原山線道路(御神火スカイライン)の復旧工事を行う。

2 実施内容等

(1) 執行計画及び執行状況

年度	項目
平成 25 年度	・災害査定
平成 26 年度	・道路詳細設計 ・保安林解除申請 ・国立公園道路変更協議書提出、特別地域内の工作物新築許可申請書提出 ・国交省との査定内容変更協議 ・道路災害復旧工事 施工
平成 27 年度	・道路災害復旧工事 施工 ・成功認定対応
平成 28 年度	・成功認定対応、会計検査対応

(2) 工期

- ・町災第1号 :平成 27 年 5 月 14 日～平成 27 年 8 月 28 日
- ・町災第2号 :平成 27 年 2 月 12 日～平成 28 年 3 月 25 日
- ・町災第3号 :平成 26 年 11 月 7 日～平成 27 年 7 月 31 日
- ・町災第4号 :平成 26 年 11 月 17 日～平成 28 年 3 月 10 日
- ・町災第5・6号 :平成 26 年 9 月 10 日～平成 27 年 2 月 20 日



元村三原山線(御神火スカイライン)工事箇所位置図



大島町復興計画推進委員会

復旧・復興事業報告

観光産業課

大島町観光プール(仮称)建設工事

1 事業概要

平成25年に発生した台風26号の土砂災害によって流出した弘法浜プールの再建に伴い、大島町観光プール(仮称)を新設する。

2 実施内容等

(1) 工事場所 東京都大島町元町2丁目20番1(旧パレラメール跡地)

(2) 敷地面積 7,410 m²

(3) 工事概要

- ・ 管理棟 RC 造平屋建 建築面積 207.10 m² 延べ面積 162.00 m²
- ・ 競技用プール兼成人用プール(458 m²)水深平均 1.1~1.3m、FRP サンドイッチパネル 25m × 16.4m(7 コース)、12.0m × 4.0mサブプール付
- ・ 子供・幼児プール(143.39 m²)水深 0.7m及び 0.5mFRP サンドイッチパネル、キノコ形噴水及び子供用ウォーター滑り台付
- ・ 日除けパーゴラ・シェルター5基
- ・ 海水揚水ポンプ取替、一部既存施設使用
- ・ プールサイド舗装一式
- ・ 合併処理浄化槽 90人槽
- ・ 給排水及び海水給水配管工事
- ・ 周囲樹脂コートメッシュフェンス及び一部擁壁等工事

- ・ 緑化植栽及び防風フェンス及び周囲整備工事
- ・ 排水用側溝敷設及び町道横断水路敷設工事

(4) 工事期間

平成 27 年 5 月 14 日 ～ 平成 28 年 3 月 20 日

※平成 28 年夏季から運用開始

3 仮設プールの設置

平成 27 年度の夏季対策として弘法浜に子供プールを特設し子供の遊び場所を確保するための事業を実施する

(1) 設置期間

遊泳場開設期間と合わせ、同期間設置

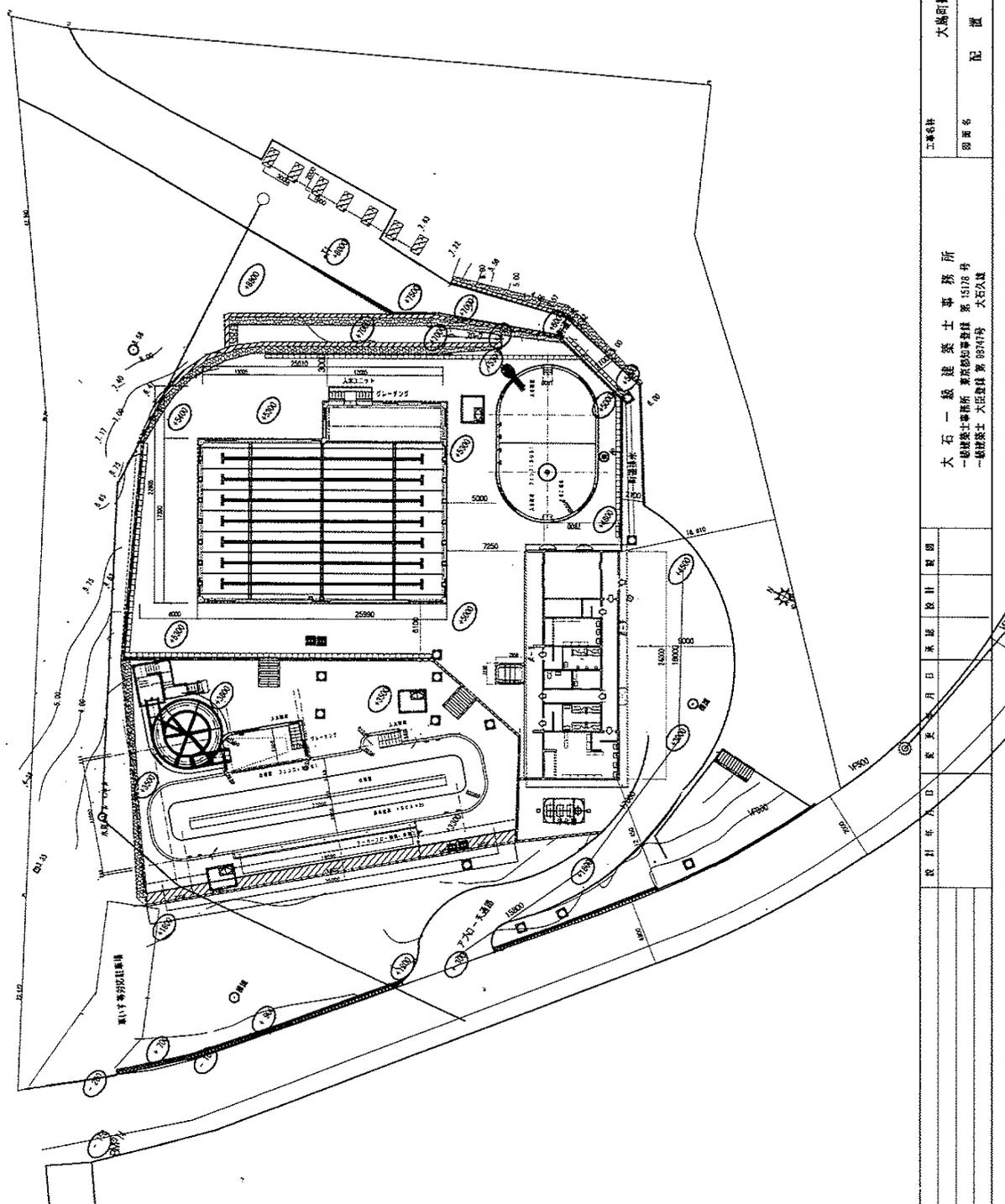
平成 27 年 7 月 25 日～平成 27 年 8 月 23 日(予定)

(2) 設置場所

弘法浜の砂浜部分(旧プール跡地北側)

(3) 運営方法

小学生以下・保護者同伴での利用を前提とし、監視員 1 名を常駐



図面番号	AC-A0	1/200~1/430
工務名	大崎町観光ホテル(仮称)建築工事	設計図面
図面名	配置計画図	S-1/300
設計者	大石一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都登録第 15178 号 一級建築士 大石謙雄 事務所 大石久直	設計
設計年月日	年月日	設計
設計者	大石一級建築士事務所	設計

大島町復興計画推進委員会

復旧・復興事業報告

教育文化課

社会科副読本改訂事業

1 事業概要

平成 26 年度社会科副読本改訂委員会を開催し、台風 26 号災害を掲載した副読本を平成 27 年度に配布する。

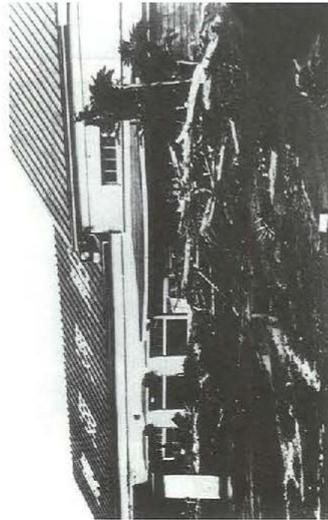
2 実施内容等

- ・ 平成 26 年度に社会科副読本改訂委員会を5回開催し、改訂版完成
- ・ 平成 27 年度に小学校3年生、4年生へ配布

(4) 台風のさいがいからみんなを守る

大島には、一年に平均で2個から3個の台風が接近します。周りを海で囲まれていること（自然環境）などから、強風や高波、大雨などによる被害が発生することがあります。

【1958年9月26日に大島をおそった「狩野川台風」による被害】
(昭和33年)



○亡くなった人や

- 行方不明者：2名
- けがをした人：9名
- 山くずれ：6か所
- がけくずれ：6か所
- 流されたりこわされたりした家：120けん以上

【2013年10月16日に大島に接近した「台風第26号」による被害】
(平成25年)



- 亡くなった人：36名
 - 行方不明者：3名
 - 山くずれ・がけくずれ
元町・岡田・泉津地区などを中心に多くの場所がくずれた。
 - 流されたりこわされたりした家：400けん以上
- ※平成26年12月現在

台風のさいがいに備えて

大島では、少しでも被害が出ないように、石がきを積んだり、防風林を作ったり、砂防ダムを建設したりするなど、様々な工夫をしています。



風よけの石がき（泉津）



防災対策室と各所との衛星電話（町役場）



防風林（仲の原圃地）



砂防ダム（大金沢上流）

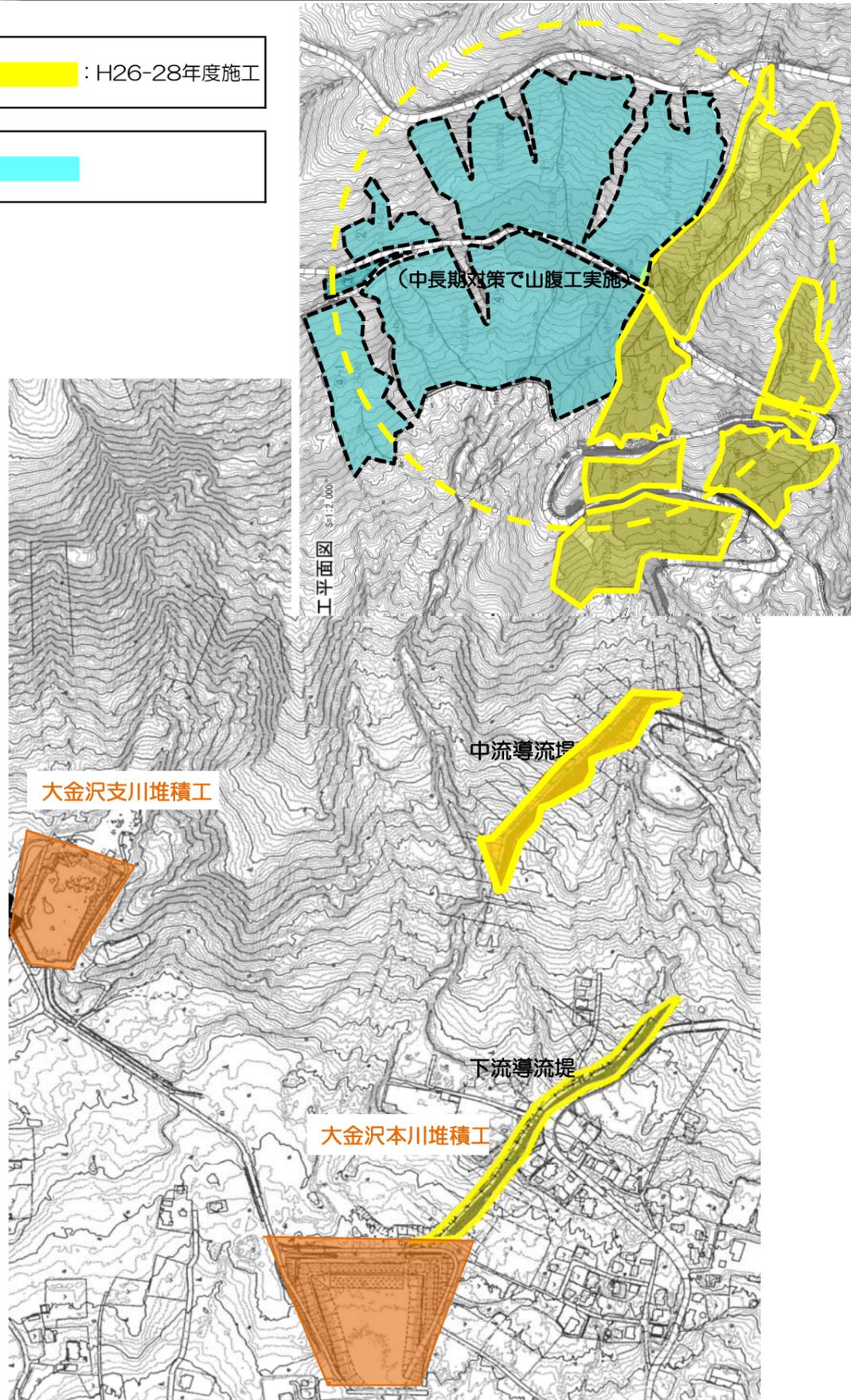
○消防団の方々は、住民のために港の船を陸にあげる手伝いをしたり、土のうを積んだりするなど、被害を少なく食い止めるために協力しています。

○役場には、三原山の火山火や台風などの自然災害に備えて、「防災対策室」が設置されています。また、気象庁伊豆大島火山防災連絡事務所が併設されており、遠望監視システムなどにより、24時間体制で火山活動の状況などの情報を集めています。大島警署、東京都大島支庁、消防本部などと定期的に話し合う防災業務会議を行っています。みなさんの安全を守る努力をしています。

平成26年度以降大島土砂災害対策事業実施箇所図及び実施工事内容

平成26年度以降工事実施箇所

短期対策	: H26-28年度施工
中長期対策	



短期対策工事実施内容

- 山腹工対象範囲全域において、表層土砂の流出を仮止めし、早期の植生回復にもつなげる『航空実播工』を行う。
- 山腹工の実施にあたり、土質の脆い箇所では『鉄筋挿入工』、傾斜の緩い箇所では『鋼製柵工』を行う。

山腹工 (H26~28) (斜面安定化工)

構造概略図

(鋼製柵工)

■ 大金沢山腹工左支川のスケジュール

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
詳細設計			
用地測量			
用地買収			
工事			

導流堤工 (H26~28)

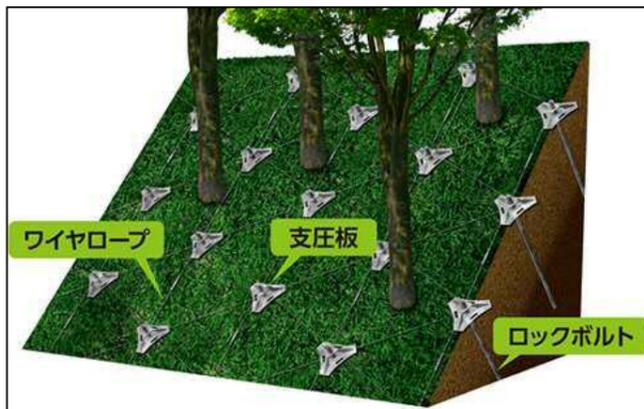
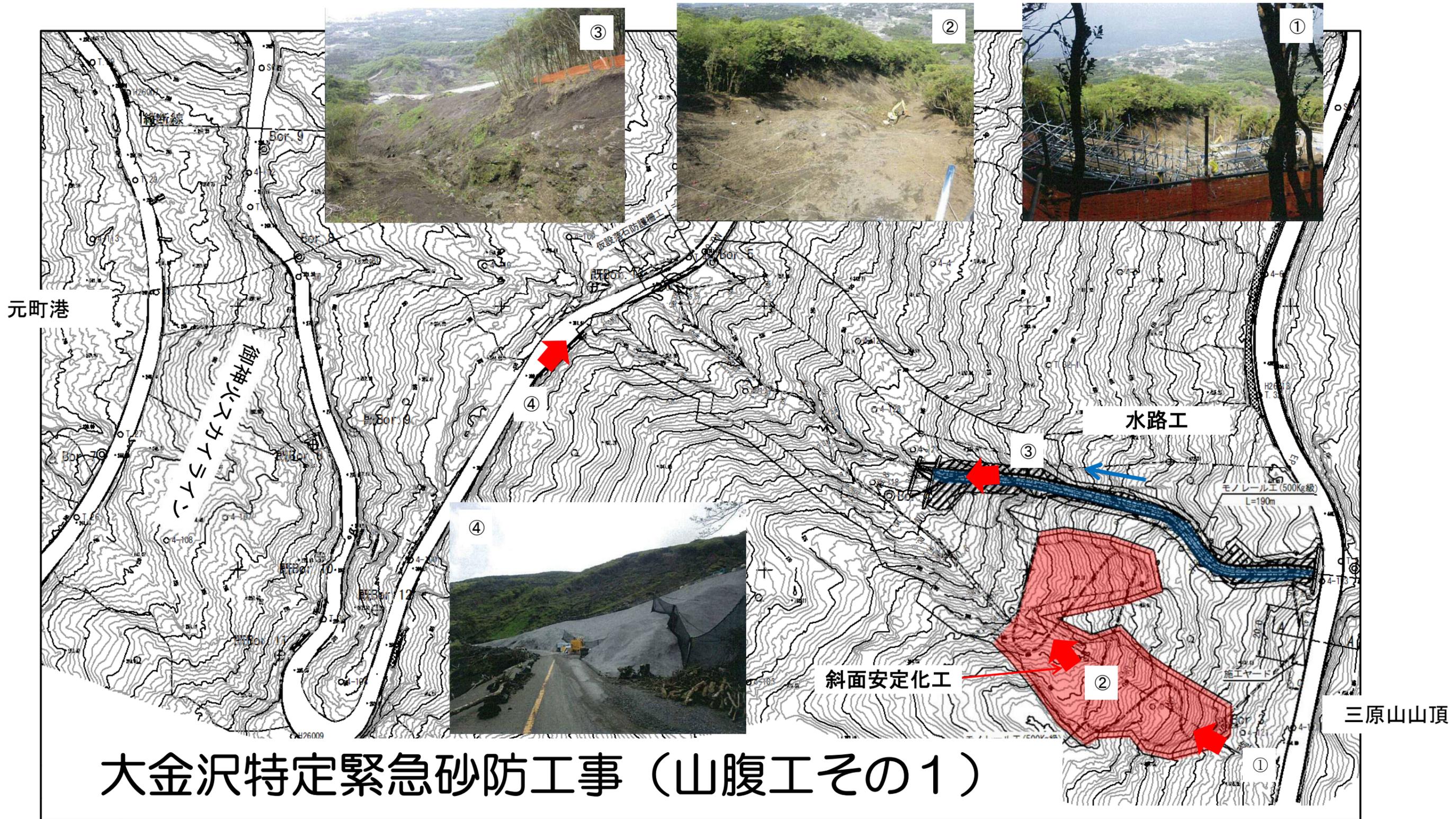
■ 大金沢流向制御工のスケジュール

	平成25年度	平成26年度	平成27年度以降
詳細設計			
用地測量			
用地買収			
支川制御工工事			
下流制御工工事			
中流制御工工事			

【参考】 管理用通路工

管理用通路工のスケジュール

	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降
詳細設計			
用地測量			
用地買収			
工事			



斜面安定化工（施工イメージ）

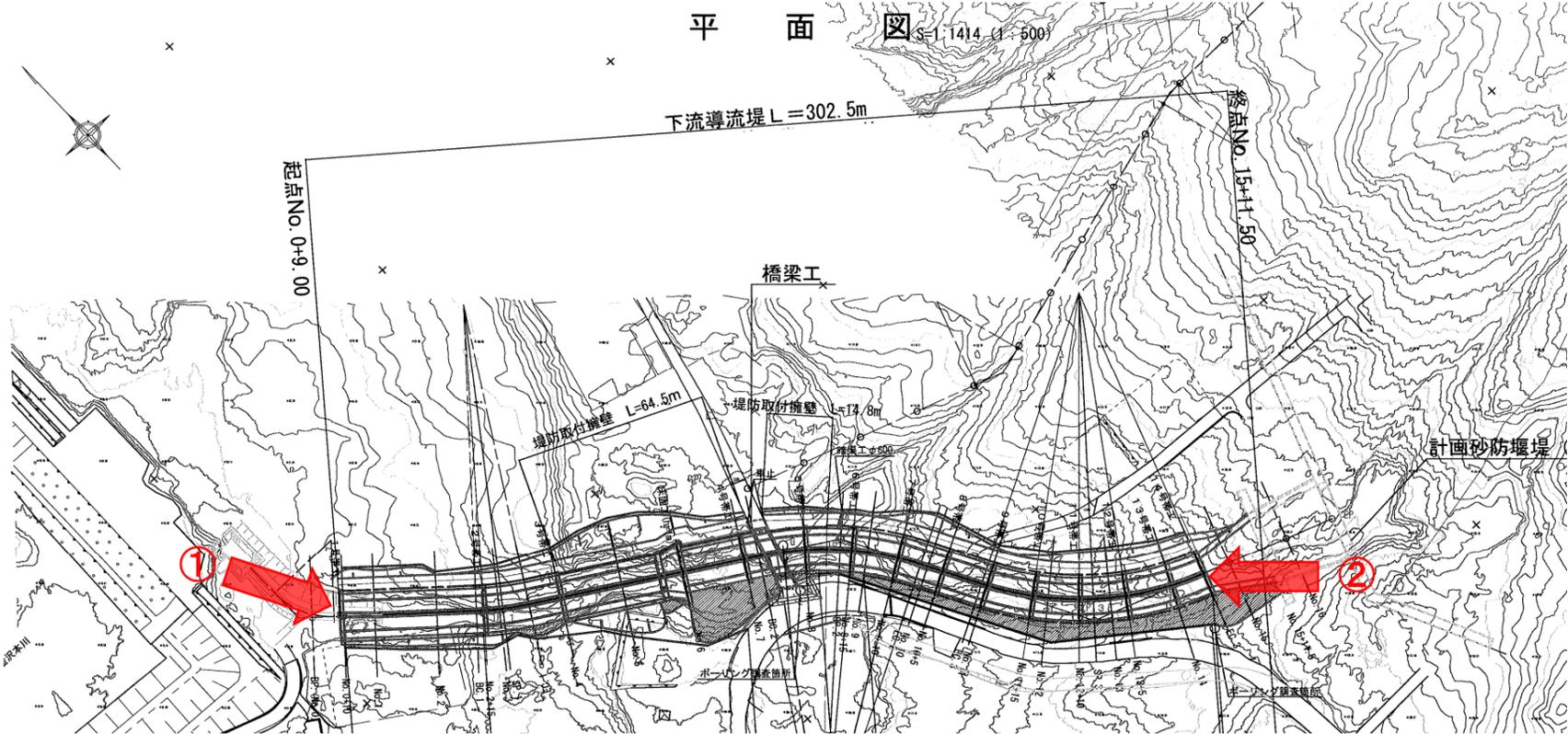


水路工（施工事例）



床固工（施工事例）

施工状況写真 (平成27年 4月25日 撮影)



撮影方向 ① 下流～上流



撮影方向 ② 上流～下流



平成27年度 復興事業実施計画

事業名 排水整備事業(都道)

大島支庁 土木 課

① 事業概要					
大島町復興計画 復興の柱2 主な施策方針 ①地域基盤の整備 2-1-4に“被災した地域一帯における雨水排水整備計画の策定”が示されている。これに基づき、平成26年度は元町地区の雨水排水の現況調査と雨水排水検討委託を実施したことから、平成27年度以降、必要に応じて対策工事を実施していく。					
② 執行計画及び執行状況					
雨水排水現況調査	平成27年度	大島高校流域にて現況調査実施予定			
雨水排水検討	平成27年度	各流域ごとに雨水排水計画を立案し、整備手法について検討			
	平成28年度以降	緊急性や整備効果が高い路線について工事に関する調査及び詳細設計 各流域ごとに、計画立てて整備に関する調査及び設計			
雨水排水対策工事	平成27年度	緊急性や整備効果が高い路線について、可能な個所から工事開始			
	平成28年度以降	各流域ごとに、計画立てて順次整備			
③ 進捗管理線表					
項目	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	備考
雨水排水現況調査		○大島高校流域に関する現況調査			
雨水排水検討	○雨水排水計画立案、整備手法検討		○緊急性や整備効果の高い路線の調査及び詳細設計		
雨水排水対策工事		○緊急性や整備効果の高い路線の工事			
(注) …は執行計画、—は執行状況、○は予定年月日、●は実施年月日					
④ 課題			⑤ 対策		
<ul style="list-style-type: none"> ・都道の排水は、町道や砂防の流域も含めた検討が必要 ・雨水排水計画の立案には、流域ごとの重要性の評価や整備手法の検討が必要 ・緊急性や整備効果の高い路線については、早期の工事開始に向けた検討が必要 			<ul style="list-style-type: none"> ・町道排水の検討委託、及び砂防の検討と併せて進めていく ・流域ごとの重要性は各項目における評価点数の合計により評価する手法を検討、整備手法については国や都の補助金について調査。 ・早期に委託受託者を決定し、地元調整や現場調査を進め、設計や積算を進めていく 		
(参考) 関連事業の動き					